

平成18年度 春季県下一斉学力テスト S N 解答

[1]

$$(1) 3 - (-1)^2 = 3 - 1 = \underline{\underline{2}}$$

$$(2) \frac{3x}{2} - \frac{x+y}{6}$$

$$= \frac{9x}{6} - \frac{x+y}{6}$$

$$= \frac{9x - (x+y)}{6}$$

$$= \frac{8x-y}{6}$$

$$= \underline{\underline{\frac{8x-y}{6}}}$$

$$(3) 3x - 8 = 5x \text{ より,}$$

$$3x - 5x = 8$$

$$\text{よって } -2x = 8$$

$$\text{ゆえに } \underline{\underline{x = -4}}$$

$$(4) (x^2y)^3 \div x^2 = x^6y^3 \div x^2 = \underline{\underline{x^4y^3}}$$

$$(5) \frac{\sqrt{2}}{2\sqrt{3}} = \frac{\sqrt{2}\sqrt{3}}{2\sqrt{3}\sqrt{3}} = \underline{\underline{\frac{\sqrt{6}}{6}}}$$

[2]

$$(1) a^2 + 7a - 18 = \underline{\underline{(a+9)(a-2)}}$$

$$(2) (x+3)^2 = 2 \text{ より,}$$

$$x+3 = \pm\sqrt{2}$$

$$\text{よって, } x = \underline{\underline{-3 \pm \sqrt{2}}}$$

$$(3) x-4y=0 \text{ に } x=9y+5 \text{ を代入して,}$$

$$9y+5-4y=0$$

$$\text{よって, } 5y=-5$$

$$y=-1$$

$$\text{これを } x-4y=0 \text{ に代入して,}$$

$$x-4(-1)=0$$

$$\text{よって, } x=-4$$

$$\text{ゆえに } \begin{cases} x = -4 \\ y = -1 \end{cases}$$

$$(4) a = 2 + \sqrt{3}, b = 2 - \sqrt{3} \text{ のとき,}$$

$$a+b=4, a-b=2\sqrt{3}$$

よって,

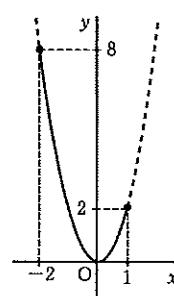
$$a^2 - b^2 = (a+b)(a-b) = 4 \times 2\sqrt{3} = \underline{\underline{8\sqrt{3}}}$$

- (5)  $\sqrt{2} < a < \sqrt{18}$  が成り立つのは  
 $\sqrt{2} < \sqrt{a^2} < \sqrt{18}$  が成り立つとき,  
 すなわち  $2 < a^2 < 18$  が成り立つときである。  
 $1^2 = 1, 2^2 = 4, 3^2 = 9, 4^2 = 16, 5^2 = 25, \dots$   
 であるから, これを満たす自然数  $a$  は  
 $\underline{\underline{a = 2, 3, 4}}$

【別解】  $\sqrt{2} = 1.414\dots$  なので,  
 $\sqrt{18} = 3\sqrt{2} = 4.242\dots$   
 よって,  
 $1.414\dots < a < 4.242\dots$  をみたす自然数  $a$  は  
 $\underline{\underline{a = 2, 3, 4}}$

[3]

(1)  $x$  の変域が  $-2 \leq x \leq 1$  のときの関数  $y = 2x^2$   
 グラフは、下図のようになる。



したがって、 $y$  の変域は  
 $\underline{\underline{0 \leq y \leq 8}}$

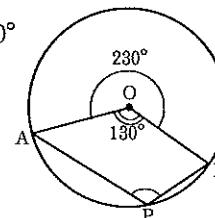
(2) 円周角  $\angle APB$  に対する

中心角  $\angle AOB$  の大きさは

$$\angle AOB = 360^\circ - 130^\circ = 230^\circ$$

円周角の大きさは中心角の  
 半分であるから

$$\angle APB = \frac{1}{2} \times 230^\circ = \underline{\underline{115^\circ}}$$



(3) 円の半径を  $r \text{ cm}$  とすると,

$$\text{右図より } r : 3 = 1 : \sqrt{3}$$

よって,

$$\sqrt{3}r = 3$$

$$r = \sqrt{3}$$

したがって、求める円の  
 面積は、

$$\underline{\underline{3\pi \text{ cm}^2}}$$

(4) 大小2個のさいころの目の出方は全部で36通りある。

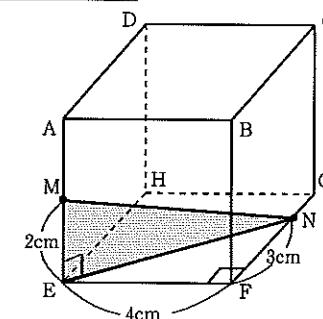
大きいさいころの目が  $a$ , 小さいさいころの目が  $b$  であるときに、 $(a, b)$  表すことになると、問題の条件を満たす目の出方は、

$(1, 2), (2, 2), (3, 2), (4, 2),$   
 $(1, 4), (2, 4), (3, 4), (4, 4),$   
 $(1, 6), (2, 6), (3, 6), (4, 6)$

の12組ある。  
 よって、求める確率は、 $\frac{12}{36} = \underline{\underline{\frac{1}{3}}}$

(5)  $MN^2 = ME^2 + EN^2 = ME^2 + (EF^2 + FN^2)$   
 $= 2^2 + 4^2 + 3^2 = 29$  より、

$$MN = \sqrt{29} \text{ (cm)}$$



[4]

(1)  $x = 4$  を  $y = \frac{1}{2}x+2$  に代入すると、 $y = 4$

したがって、点 B の座標は  $(4, 4)$  である。

関数  $y = ax^2$  のグラフは点 B を通るから、

$$4 = a \times 4^2 \text{ これより, } a = \frac{4}{16} = \underline{\underline{\frac{1}{4}}}$$

(2)  $x = -2$  を  $y = \frac{1}{2}x+2$

に代入すると  $y = \frac{1}{2} \times (-2) + 2 = 1$

よって、点 A の座標は  $(-2, 1)$  である。

また、 $y = 4$  を  $y = \frac{1}{4}x^2$  に代入すると  $4 = \frac{1}{4}x^2$

$$x^2 = 16 \text{ より, } x = \pm 4$$

点 C の  $x$  座標は、 $x = -4$

よって、点 C の座標は  $(-4, 4)$  である。

求める直線の式を  $y = ax+b$  とおくと、

2点 A  $(-2, 1)$ , C  $(-4, 4)$  を通るから、

$$-2a+b = 1 \dots \text{①} \quad -4a+b = 4 \dots \text{②}$$

①, ②を解くと、

$$a = -\frac{3}{2}, b = -2$$

したがって、求める直線の式は、 $y = -\frac{3}{2}x - 2$

[5]

$$(1) \triangle APQ = 64 - \triangle ABP - \triangle PCQ - \triangle ADQ$$

$$= 64 - \frac{1}{2} \times x \times 8 - \frac{1}{2} \times (8-x) \times x - \frac{1}{2} \times 8 \times (8-x)$$

$$= \frac{1}{2}x^2 - 4x + 32 \text{ (cm}^2\text{)}$$

$$(2) \triangle APQ \text{ の面積が } 24 \text{ cm}^2 \text{ であるので, (1) より}$$

$$\frac{1}{2}x^2 - 4x + 32 = 24$$

$$\frac{1}{2}x^2 - 4x + 8 = 0$$

両辺を2倍すると

$$x^2 - 8x + 16 = 0$$

左辺を因数分解すると、

$$(x-4)^2 = 0$$

$$\text{よって, } x = 4 \text{ (cm)}$$

[6]

(1)  $\triangle AED$  と  $\triangle CDF$  において、  
 $\angle EAD = \angle DCF = 60^\circ \dots \text{①} \triangle$

また、 $\angle EDF = 60^\circ$  であるので、

$$\angle ADE + \angle CDF = 120^\circ$$

$\angle EAD = 60^\circ$  であるので、

$$\angle ADE + \angle AED = 120^\circ$$

したがって、 $\angle AED = \angle CDF \dots \text{②} \triangle$

①, ②より、2組の角がそれぞれ等しいから、

$\triangle AED \sim \triangle CDF \text{ ⑩}$

(2) EB = ED であるので、

$\triangle AED$  の周の長さは  $AD + AB = 14$

同様にして、

$\triangle CDF$  の周の長さは  $CD + BC = 16$

したがって、

$\triangle AED$  と  $\triangle CDF$  の相似比は、

$$14 : 16 = \underline{\underline{7 : 8}}$$

